

環境対策

理事 星 啓

自動車が生じたのは1769年。ヨーロッパでは馬車が人や荷物を運ぶ主要な道具であった時代に、フランスにて蒸気で走る自動車が発明された。この初めての自動車は、軍隊で使われる大砲運搬のために作られた重たくて大きな車体で、スピードは10km/h以下だったといわれている。

電気自動車の歴史はガソリンエンジン車より古い。1777年に電池が、1823年にモータが発明され、1873年にイギリスで電気式四輪トラックが実用化されている。

現在主流となっているガソリン自動車が誕生するのは1885年、ドイツ人のゴットリーブ・ダイムラーにより4ストロークエンジンが開発され、翌1886年に四輪自動車が開発された。1900年代初頭は蒸気自動車がまだ主流であったが、フランスのド・ディオン・ブートンが1900年1月から翌年の4月にかけて1,500台のガソリン自動車を生産販売。その後すぐ、アメリカでは1901年に登場したオールズモビル・カーブドダッシュは、同年425台、翌年2,500台を製造、アメリカ初の量産車となった。

それからほぼ一世紀経た現在、自動車は私たちの日常生活とは切っても切り離せない存在になっている。2000年の世界自動車保有台数は7億5,000万台となり、現在では資源・エネルギーの問題、環境問題が深刻となってきている。

1997年12月に採択された京都議定書、また2008年の洞爺湖サミット(G8)により、2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を50%削減する目標が採択された。

自動車業界では、排ガス規制、ディーゼル自動車に対する規制、燃料品質規制など取り組んでおり、ガソリン自動車の省エネ(ハイブリッド)、代替燃料自動車、2009年以降には各自動車メーカーから電気自動車(EV)の販売が開始されている。

政府によるエネルギー基本計画によると、乗用車に占める次世代自動車(EV)の割合を2020年までに最大50%、2030年までに最大70%とすることを目指している。

欧州では電気自動車(EV)への転換が加速しており、イギリスでは2040年までにガソリン車やディーゼル車の販売を全面的に禁止、2050年にはガソリン車やディーゼル車を全廃すると発表した。オランダやノルウェーでも2025年以降のディーゼル車やガソリン車の販売禁止を検討しており、ドイツでは昨年2030年までにガソリン車などの販売を禁止する決議が国会で採択された。

この流れはアジアにまで及んでおり、インド政府は今年4月に、2030年までに販売する車を全てEVにする目標を表明している。

現在、船舶への環境規制も具体化し、バラスト水規制、SO_x規制、NO_x規制、温室効果ガス排出規制が始まっている。自動車の歴史同様、燃料油品質規制、技術改革、船舶の効率運航、様々な視点で最適な方法を目指す必要がある。

